

バランスシートから分かること

◆急速に進んだ社会資本の整備

社会資本の整備である有形固定資産は、10年前の平成2年度に比べ327億円の増加(84%増)となっています。この大きな伸びは、最近10年間で学校建設や都市計画事業など社会資本の整備が急速に進んだことがわかります。

また、負債のうち借入金(地方債)の伸び(94%)と、正味資産のうち国・県支出金の伸び(65%)と比較すると、この10年間の社会資本の整備が補助事業に加え市単独事業を多く取り入れ、進められたことがわかります。

◆資産は市民一人当たり約123万円

市民一人当たりの資産合計は、12年度末で約123万円です。10年前の平成2年度末と比較して約1.8倍増加しており、決算額の伸び(1.6倍)に比べ社会資本整備が大きかったことがわかります。同様に負債合計は約46万円で、平成2年度と比較して約1.9倍増加しています。

◆土木・教育資産が全体の69%

平成12年度末の有形固定資産は、道路、橋、市営住宅、公園など市民の生活基盤に要した土木費が291億円(40%)で、最も多くなっています。

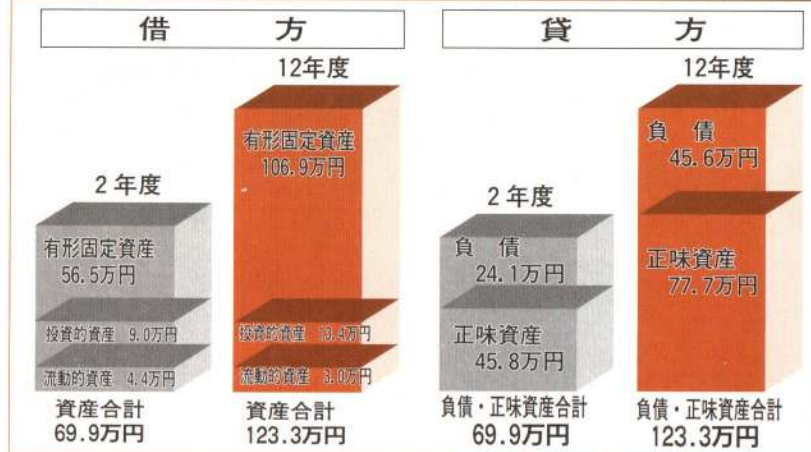
次いで、小中学校や社会教育施設の整備に要した教育費で、210億円(29%)となっています。中でも学校建設が大きなウエイトを占めています。

平成2年度末(10年前)と比較すると、福祉施設などの整備に要した民生費と農林業振興や農村生活環境向上のための施設整備に要した農林水産業費が大きな伸び(4.2倍)を示しています。

有形固定資産(分野別)

分野別	平成2年度		平成12年度	
	金額	構成比	金額	構成比
総務費	7億3千万円	2%	22億円	3%
民生費	17億8千万円	5%	75億円	10%
衛生費	5億6千万円	1%	4億9千万円	1%
労働費	3億8千万円	1%	5億7千万円	1%
農林水産業費	17億3千万円	4%	75億9千万円	10%
商工費	10億5千万円	3%	25億4千万円	4%
土木費	150億7千万円	38%	291億円	40%
消防費	5億9千万円	2%	4億円	1%
教育費	167億円	43%	209億6千万円	29%
その他	3億9千万円	1%	3億5千万円	1%
合計	389億8千万円	100%	717億円	100%

市民一人当たりのバランスシート



借方

有形固定資産
学校、道路、橋など
2年度 389億8千万円
12年度 717億円

(うち土地 2年度 52億7千万円
12年度 151億9千万円)

投資的資産
基金(固定的なもの)、出資金など
2年度 61億9千万円
12年度 90億1千万円

流動的資産
現金、預金、基金(現金化が容易なもの、未収金(税)など
2年度 30億6千万円
12年度 19億8千万円

資産合計
2年度 482億3千万円
12年度 826億9千万円

大館市のバランス

バランスシートについてのお問い合わせは
市役所財政課 ☎49-3111
(内線376)